

生きもの なかよし 大作せん

～生きものがしあわせにすむことができるようになるには～

本単元で育成する資質・能力

主体性・表現力・やりきる力

- ◇ 日 時 令和3年6月16日(水) 5校時
◇ 学年・組 第2学年1組 (男子16名, 女子11名, 計27名)

単元について

◇単元観

本単元は、学習指導要領第1学年及び第2学年の内容(7)「動物の飼育」及び内容(8)「身近な人々との交流」を基に構成したものである。内容構成の具体的な視点としては、「ウ地域への愛着」「カ情報と交流」「キ身近な自然との触れ合い」を取り入れている。

(7) 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。

(8) 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。

本単元は、生活科「春だ今日から2年生」「ぐんぐんそだてわたしの野さい」とかかわらせることで、学校内や校区内の自分の生活する場所の魅力を再発見できる単元である。そこで見つけた動物について、友達と話し合うことで、ふだん何気なく目にしていた動物を学習対象として意識することができる。そして、学習対象として意識したことで、ふだんから接している動物のことをもっと知りたいと意欲を持つことができると考える。主体的に動物を継続的に飼育し、繰り返し関わることで、その動物の特徴に気付いたり、生命があることを実感したりすることができる。さらに、調べたことや気付いたことを伝える学習を通して、表現するときには相手を意識することが大切だということに気付くことができる。

さらに、小単元「生きもののことを伝えあおう」でこの単元を完結するのではなく、持続可能な開発目標(SDGs)とかかわりを持たせながら「大好きな生き物が幸せに棲める自然をこわさないようにするために、わたしたちにできることを考えよう。」という継続的なプロジェクトを設定することで、活動を継続していくことができると考える。

◇児童観

本学級の児童は、昨年度「いきものとなかよし」の単元で、2年生から教えてもらった生き物に興味を持ち、教室で飼いながら生き物を大切にしようという気持ちを持った。また、本年度は、「春だ今日から2年生」において、校区内の春を見つける学習をする中で、公園や道端にある植物だけでなく、草むらにいる生き物にも興味をもってかかわった。さらに、「ぐんぐんそだてわたしの野さい」や国語科「かんさつ名人になろう」では、視点をもって観察することで、成長の様子を感じることができると実感している。

6月に行ったアンケート結果は、次のようだった。

	項目	肯定的回答 (%)
①	○学しゅうしているとき、「なぜだろう。」「やってみたい。」と思います。	85
②	○ふだんの生かっや学しゅうの中で、これまでに学しゅうした内ようをつかっています。	81
③	○学しゅうしているとき、友だちと話し合うと考えがふかまったり、あたらしい考えがうかんだりします。	85
④	△学しゅうかだいをかいつするのために、すすんで、しらべたりたずねたりしています。	74

①は肯定的な回答が 85%だった。学習課題を自分から見つけることが得意ではないと考えている児童が多いといえる。しかし、学習の様子を見てみると、不思議だなと感じたり、どうやったらできるかなと考えたりしている児童は少なくない。そのため、生活科だけでなく他教科でも学習のめあてを自分たちで考えることをしている。考えたことを言語化することで、課題を自分で見つけていることを意識することができるのではないかと考える。

③は、85%だった。友だちの意見を聞きながら、感心したり、それを真似てみたりしている所をよく目にする。学び合うことの意義を感じつつある今、さらに学びを深めることができるよう、感染症対策をしっかりしながら、話し合いの場を設定するようにする。

④は 74%にとどまっている。これまで、授業の振り返りでは「次の学習までに～を調べたいです」等と記している児童もいたが、なかなかそれが実現してはいなかった。しかし、本単元においては、自分から主体的に調べたり、餌を集めたりして、課題解決のために進んで学習をしている様子が見られる。

◇指導観

指導にあたっては、日常的で無意識であった対象との関わりを、話し合ったりワークシートに書いたりして言葉で表現することで、視点をもって関わるようにさせていきたい。また、十分に対象と関わり、それを言語化していくことを繰り返すことで、気付きの質を高めていきたい。

また、自分たちの知識や「きっと～だと思ふ」という勝手な想像だけで世話をするのではなく、動物には命があることに気付かせることで、正しい知識を得て飼育する環境を整えることが大切だと気づかせる。正しい知識を得る方法について、図書室の図鑑で調べるだけでなく、専門家に質問するとより詳しく教えてもらえることを実感させ、情報を得る方法に広がりを持たせたい。

さらに、小単元「生きもののことを伝えあおう」でこの単元を完結するのではなく、持続可能な開発目標 (SDGs) とかかわりを持たせながら継続的なプロジェクトを設定したい。対象としっかりかかわらせることで、子ども達からプロジェクト設定の案を引き出したい。「大好きな生き物が幸せに棲める自然をこわさないようにするために、わたしたちにできることを考えよう。(仮)」という継続的な課題を設定し、自分はどのような理由でどう行動するのかを考えさせたい。社会の一員として持続可能な開発目標を達成するために行動していることを保護者や地域に発表する場を設定し、社会の一員であることを意識させていきたい。

単元の目標

動物を探したり、飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、生命をもっていることなどに気付くとともに、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとするすることができる。

単元の評価基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
S	動物が棲息している所を予想しながら探したり、最適な環境で飼育したりする活動を通して、動物が成長していることや、生命をもっていることに気付いている。	動物が棲息している所を予想しながら探したり、最適な環境で飼育したりする活動を通して、動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、相手に分かりやすくまとめている。	友達と一緒に動物が棲息している所を予想しながら探したり、最適な環境を話し合いながら飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしている。
A	動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物が成長していることや、生命をもっていることに気付いている。	動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、まとめている。	動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしている。
B	動物を探したり飼育したりする活動はするが、動物が成長していることや、生命をもっていることには意識が及ばない。	動物を探したり飼育したりする活動はするが、動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもつことができない。	動物を探したり飼育したりする活動はするが、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようすることはできない。

育成しようとする資質・能力と本単元とのかかわり

本校で育成する資質・能力	生きて働く「知識及び技能」の習得	未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」の育成	学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」の涵養
	主体性	表現力	やりきる力
	課題や対象に進んで関わり、意欲的に学習したり生活したりすることができる。	相手や場面に応じ、自分の思いや考えを分かりやすく伝えることができる。	課題に対し、最後まであきらめないでやり通すことができる。
単元で目指す児童の姿	○動物がどんな所に棲んでいるか、予想しながら進んできがす。 ○どのような環境で飼うとよいか、進んで調べたり尋ねたりする。	○質問したいことを丁寧な言葉で分かりやすく文章にするための方法を考える。 ○伝えたい相手に分かりやすい方法を選択し、まとめる。	○自分と異なる意見が出て最後まで聞き、協働して課題を解決する。 ○最後まで継続して、動物の世話をする。

指導と評価の計画（全16時間）

	主な学習内容（時数）	評価規準（評価方法）	教科等との関連
生きものなかなよし大作せん (16)	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;">生き物のことを話そう</p> <p>○生活の中で見つけた動物の種類や場所について話し合う。 ○前単元の学習を想起しながら、どんなところに動物がいるのかを話し合う。 ○どこへ動物を探しに行きたいのかを話し合う。(1)</p>	<p>・これまでの経験を想起しながら、身近な動物の種類やいる場所について友達と話し、身近な動物とかかわりたいという思いを高めている。 (行動観察) (振り返り)</p>	<p>生「春だきょうから2年生」</p>

<p>生きものをさがそう</p> <p>○動物を捕まえに行く計画を立てる。(1) ○計画した場所に出かけ、安全に気を付けながら友達と協力して動物を捕まえる。(2) ○捕まえた時のことや場所のことを話し合い、動物のための棲みかを整える。(1)</p>	<p>・これまでの経験や聞いたり調べたりしたことを基に、動物のいる場所を予想しながら動物を探す中で、動物の育つ場所の特徴に気付いている。(行動観察) (ワークシート)</p>	
<p>生きものをそだてよう</p> <p>○動物の飼い方を話し合う。(1) ○飼い方を調べ棲みかをつくる。(1) ○動物の飼い方を交流し、継続的に飼育する。(1)</p>	<p>・動物のいた場所と生育環境の関係性を探しながら世話の仕方を決め、適切な方法で飼育する中で、動物が生命を持っていることや成長していることに気付いている。(行動観察) (ワークシート)</p>	<p>国「かんさつ名人になろう」 道「げんきにそだて、ミニトマト」</p>
<p>生きもののことを伝え合おう</p> <p>○動物のことを伝えあう計画を立てる。(2) (本時1/2) ○動物のことを伝える。(2) ○飼育活動を振り返るとともに、今後動物をどうするのかについて話し合う。(1)</p>	<p>・自分と異なる意見が出て最後まで聞き、協働して課題を解決している。(行動観察) ・飼育してきた動物について伝え合う中で、自分が動物の様子に合わせて世話をすることができるようになったことに気付いている。(行動観察) (ワークシート) ・世話をしてきた動物に親しみを持ち、これからも身近な動物を大切にしようとしている。(行動観察) (ワークシート)</p>	<p>国「かんさつ名人になろう」</p>
<p>調べていきたいことを見つけよう</p> <p>○身近な動物たちが幸せに棲める自然にするために、自分たちに何ができるか話し合う。(1) ○実行していることを紹介し(発表または動画)、自分の行動について振り返る。(2)</p>	<p>・その動物の餌があり、身を隠すことができるところが棲みやすいことに気づき、そのような環境を保つために、自分たちに何ができるかを考えている。(行動観察) (ワークシート)</p>	

本時の学習 (9 時間目 / 全 16 時間)

◇本時の目標

○飼育してきた動物の様子を思い出しながら、伝える相手やその手段を話し合っ決めてすることができる。

◇学習の流れ

学習活動	指導上の留意点、◇予想される児童の反応	評価規準 (評価方法)
1 学習計画を振り返る。	・今日の学習が単元のどこに位置するかを知らせ、見通しを持たせる。	
2 めあてを考える。		

友だちのい見をさいごまで聞いたり、自分のい見を分かりやすく言ったりして、つたえる方ほうをきめよう。

3 伝える方法を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく伝えるために、どんな方法があるのか、図や言葉を手掛かりにしながら理解できるようにする。 <p>◇伝える相手によって、方法もちがうんじゃないかな。</p>	
4 グループで話し合っ て、伝える方法を選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしてその方法を選んだのか、理由を話すよう助言する。 ・一人だけ話すのではなく、みんなが意見を出せるように声をかける。 ・ピラミッドチャートを利用して、思考を深めることができるようにする。 ・初めての試みなので、伝える方法は、教科書に掲載されている方法から選択できるようにし、それが視覚的に分かるような付箋を利用する。 <p>◇おりたたみ絵本がいいと思うよ。これなら字が少ないから1年生によく分かるんじゃないかな。</p> <p>◇お家の人に伝えるんだから、パンフレットがいいよ。調べたことが、たくさん書けるよ。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○自分と異なる意見が出ても最後まで聞き、協働して課題を解決しようとしている。</p> <p>(行動観察)</p>
5 話し合ったことを理由を明確にしながら発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートをモニターに提示することで、内容が分かるようにする。 <p>◇家の人にいろんなことをたくさん伝えたいから、字も絵もたくさんかけるパンフレットを選びました。</p>	
6 発表を聞いて、グループで選んだ方法を見直す。	<ul style="list-style-type: none"> ・他グループの考えを参考にすることができるよう、見直しの時間を設ける。 <p>◇他のグループの意見を聞いていると、なるほどと思ったよ。わたしたちが選んだ方法にもう一つ取り入れようよ。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○自分と異なる意見が出ても最後まで聞き、協働して課題を解決しようとしている。</p> <p>(行動観察)</p>
7 振り返りをし、次時の活動の見通しを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> ・次の時間には、グループを作ることを知らせ、活動への意欲を持つことができるようにする。 <p>◇おりたたみ絵本を作るのが、楽しみになってきました。早く、1年生に教えてあげたいです。</p>	

板書計画

生きものとなかよし大作せん

め友だちのい見をさいごまで聞いたり、自分のい見を分かりやすく言ったりして、つたえる方ほうをきめよう。

つたえたいあい手・つたえる方ほう

各グループの ピラミッドチャート		



⑤おりたたみ絵本を作るのが、楽し
みになってきました。早く、一年
生に教えてあげたいです。